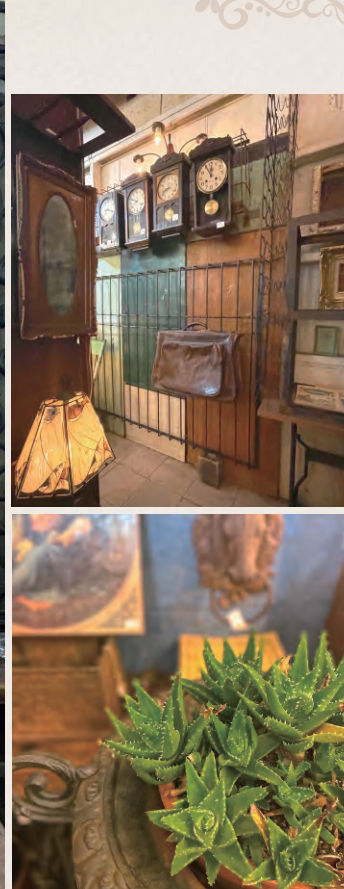




kuru工房



昭和レトロに平成レトロと、数年前から若者を中心に巻き起こっているレトロブーム。「ノスタルジーを感じさせる雑貨や日用品を収集している」、「アンティークなインテリアや家具が大好き」といった古いモノ好きも多い。経年による独特の雰囲気や古びたモノたち。自分好みの一品を探しにやってくる常連客に、いいモノが値打ちに揃う、みんなに知られたくないお店と評されているのが、蟹江町にある総合リユースショップ「リサイクルくる」だ。

心弾む「ジャンリガーデン」

国道1号線を西に向かい、芝切の交差点を過ぎると左手に、山吹色の店舗が見えてくる。大きく店名が書かれた壁面にツタが程よく絡まり、緑と山吹色のコントラストが際目を引く。店舗前には園芸店のように鉢植えが並び、ガーデンコーナーも設けられている。

店内には軽快なジャズミュージックが流れ、家具、家電、生活雑貨、アウトドア用品、工具、香水、お酒、骨董、レトロ雑貨等々、幅広いジャンルのリユース品を



ジャンリガーデン

ジャンルごとにディスプレイ。膨大な数のリユース品を取り揃えているが、雑多な印象はない。明るく見やすい店内を巡ると、カッコいいコーナーがあったり、キュートな品々が集まっていたり。リユース品たちによるいろんな表情を楽しめる。

「当店は、ちよとのおかしな総合リユースショップです。国内外のいろんな古いモノたちを取り揃えています。特に力を入れているのがガーデンやアンティークです」と教えてくれたのは店長の林誠さん。

自慢のガーデンコーナーは、植物と錆びた雑貨やアンティーク小物を組み合わせさせて飾る「ジャンクガーデン」。一般的に「がらくた」という意味の「ジャンク」なテイストを加えたガーデンングスタイルは、女性だけでなく男性にも人気がある。

多肉植物などのグリーンたちが古びた缶やポットなどに植えられ、モザイクタイルの流し台、網や鎖といった錆びたアイアン材、味のある古材などとレイアウトされている。これと植物が！という驚きの組み合わせもあり、生き生きとした植物と古いモノたちが織り成す、ユニークなガーデンは見ているだけでも楽しくなってくる。



「ひとつひねり」が溢れる工房
ジャンクガーデンと並びリサイクルくると注力しているのが、お店に入るとすぐの右側エリアに設けられている「kuru工房（以下、クル工房）」だ。「世界にここにはないオリジナルなアンティーク系の小物、雑貨、家具のコーナーです。ホットとするおかしなモノたちが並び、独特のアンティーク空間を創り出しています。お気に入りの一品を見つけに来てくださーい」と林さん。

「ホットとするおかしなモノたちは、クル工房で新たな命を吹きこまれた。古くて新しいモノ、ともいえる。「アイアンであれば、磁石がきくし錆びているものには、チョークで書くこともできますよね。モノにはいろんな見方があって、いろんな使い方があることをご提案しています。ご相談など、いつでもお声かけください」。

「ひとつひねり」が溢れる工房
クル工房の他に、骨董、レトロ雑貨、工具、寝具、文具、食器類、調理道具、家電、生活雑貨、香水、お酒などのコーナーがある。そして2階は西洋アンティーク寄りの家具をはじめカントリー家具、和風棚、チェアにソファ、照明が並び家具コーナーに、靴、洋服、着物、新しく設けたスポーツアウトドア用品のコーナーで構成されている。

「クル工房の他に、骨董、レトロ雑貨、工具、寝具、文具、食器類、調理道具、家電、生活雑貨、香水、お酒などのコーナーがある。そして2階は西洋アンティーク寄りの家具をはじめカントリー家具、和風棚、チェアにソファ、照明が並び家具コーナーに、靴、洋服、着物、新しく設けたスポーツアウトドア用品のコーナーで構成されている。」

「クル工房の他に、骨董、レトロ雑貨、工具、寝具、文具、食器類、調理道具、家電、生活雑貨、香水、お酒などのコーナーがある。そして2階は西洋アンティーク寄りの家具をはじめカントリー家具、和風棚、チェアにソファ、照明が並び家具コーナーに、靴、洋服、着物、新しく設けたスポーツアウトドア用品のコーナーで構成されている。」



巻頭特集 / リサイクルくる
古いモノを活かし
楽しむことを教えてくれるお店
新たな魅力を宿らせ、次の出番を待つ古いモノたち。
楽しく愉快なお店は、CoolかつCuteな面白さにあふれていた。

店長の林誠さん
古いモノ好きで、元はお客としてここに通っていたそう

10:00
20:00
水定休 (祝営業)

リサイクルくる

【所在地】蟹江町蟹江新田長割150-1
【TEL】0567-94-6963
【営業時間】10:00~20:00
【定休日】水曜 ※祝日営業

KURU工房 Instagram HP